

令和6年 業種別労働災害発生状況

(令和7年2月末現在の速報値)

函館労働基準監督署

区分 業種別	令和6年(速報)			令和5年(速報)			対前年		業種・割合 (%)	令和5年(確定)			
	死亡	休業 4日以上	計	死亡	休業 4日以上	計	増減数	増減率 (%)		死亡	休業 4日以上	計	
全産業合計	6	741 (22)	747 (22)	3 (1)	852 (23)	855 (24)	-108	-12.6	100.0	3 (1)	861 (23)	864 (24)	
除く鉱業計	6	741 (22)	747 (22)	3 (1)	852 (23)	855 (24)	-108	-12.6	100.0	3 (1)	861 (23)	864 (24)	
製造業	1	119 (1)	120 (1)		108	108	12	11.1	16.1		109	109	
内 訳	水産食料品	59	59		59	59			7.9		59	59	
	他の食料品	23	23		20	20	3	15.0	3.1		20	20	
	木材木製品・家具	7	7		9	9	-2	-22.2	0.9		9	9	
	窯業土石製品	8 (1)	8 (1)		2	2	6	300.0	1.1		2	2	
	金属・機械	4	4		5	5	-1	-20.0	0.5		5	5	
	輸送用機械等	7	7		4	4	3	75.0	0.9		4	4	
	その他	1	11	12		9	9	3	33.3	1.6		10	10
鉱業													
土石採取業		3 (1)	3 (1)		1	1	2	200.0	0.4		1	1	
建設業	3	65	68		88 (6)	88 (6)	-20	-22.7	9.1		88 (6)	88 (6)	
内 訳	土木工事業	1	26	27		35 (5)	35 (5)	-8	-22.9	3.6		35 (5)	35 (5)
	建築工事業	1	30	31		32 (1)	32 (1)	-1	-3.1	4.1		32 (1)	32 (1)
	木造建築業		7	7		9	9	-2	-22.2	0.9		9	9
	その他の建設業	1	2	3		12	12	-9	-75.0	0.4		12	12
道路貨物運送業		55 (3)	55 (3)		44 (1)	44 (1)	11	25.0	7.4		45 (1)	45 (1)	
その他の運輸		9 (1)	9 (1)		11 (3)	11 (3)	-2	-18.2	1.2		11 (3)	11 (3)	
陸上貨物取扱業		2	2		1	1	1	100.0	0.3		1	1	
港湾運送業		1	1				1		0.1				
林業	1	7	8		4 (1)	4 (1)	4	100.0	1.1		4 (1)	4 (1)	
水産業		11	11	1	19	20	-9	-45.0	1.5	1	19	20	
卸売・小売業		73 (1)	73 (1)		76 (1)	76 (1)	-3	-3.9	9.8		76 (1)	76 (1)	
清掃業		28	28		32 (4)	32 (4)	-4	-12.5	3.7		35 (4)	35 (4)	
その他の事業	1	368 (15)	369 (15)	2 (1)	468 (7)	470 (8)	-101	-21.5	49.4	2 (1)	472 (7)	474 (8)	
内 訳	保健衛生業		274 (1)	274 (1)	1	367 (1)	368 (1)	-94	-25.5	36.7	1	370 (1)	371 (1)
	接客娯楽業		28 (6)	28 (6)		38	38	-10	-26.3	3.7		39	39
	その他	1	66 (8)	67 (8)	1 (1)	63 (6)	64 (7)	3	4.7	9.0	1 (1)	63 (6)	64 (7)
今月のコメント	<p>1 労働災害の状況(令和6年速報値(2月)) 全産業の労働災害は748件で、前年の同時期に比べ107名減少しています。 事故の型別では、多い順に「その他」212名、「転倒」167名、「動作の反動・無理な動作」74名となっております。</p> <p>2 2月受付分について 全体で10件の令和6年発生分の労働者死傷病報告を計上しました。業種別で多いものは、保健衛生業で5名でした。</p> <p>3 コメント 令和6年業種別労働災害発生状況は令和7年3月末までに受理した労働者死傷病報告を集計して確定しますので、本発生状況(令和7年2月末)は速報値です。</p>												

※ 本統計は労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計したものです。()内は、交通事故による労働災害の内数です。
 ※ 函館労働基準監督署の管轄は、渡島管内と檜山管内です。

令和6年 死亡労働災害発生状況

函館労働基準監督署

No.	発 生 月	時 刻	業種	規模	事故 の型	起因物	災 害 発 生 概 況
1	3	時台	建設業	10名未満	飛来・落下	金属材料	被災者は、トレーラーの荷台に2段積みされていた場所打ち杭用の鉄筋かごの荷下ろし作業のため、鉄筋かごを固定していたワイヤーのチェーンブロックを緩めていたところ、荷崩れした鉄筋かごの下敷きになり、死亡した。
2	5	時台	建設業	10名未満	感電	送配電線等	被災者は、低圧配電線取替作業のため電柱に上ったところ、高圧配電線に触れ、感電し、死亡した。
3	5	時台	農業	10名未満	おぼれ	水	被災者は、頭首工にて水位管理及び清掃業務を行っていたところ、行方不明となり、数日後中洲にて発見され、死亡が確認された。
4	8	時台	建設業	10名未満	激突され	移動式クレーン	被災者は、型枠資材の積卸しのため、車両積載型トラッククレーンの荷台の上で、角鋼管の束に玉掛け後、荷に背を向け、電話対応していたところ、移動式クレーンの操作者がリモコンで巻き上げ操作を行い、地切りした荷が動き被災者に激突、被災者は荷台から墜落し、死亡したものの。
5	10	時台	製造業	50～99人	破裂	その他の材料	被災者は、ボーディングブリッジのタイヤ取り外し作業において、ハブ・ナットを外したところ、タイヤ内のチューブが膨張・破裂し、被災者が吹き飛ばされ、死亡したものの。
6	11	時台	林業	10名未満	崩壊、倒壊	立木等	被災者は、造材作業の補助作業中、受け口及び追い口を切ったまま放置していた立木が倒れてきたことで、激突され、死亡したものの。

※本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。